

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 港湾、漁港の現況と 安全対策確立を	令和6年を迎え、1月1日午後4時10分に激震が
	走りました。令和6年能登半島地震での甚大な被害
	は、13年前に我々も東日本大震災に遭遇したことか
	ら、地震、津波被害を受け避難を余儀なくされた境
	遇をテレビや新聞等の報道で目にするたびに心が痛
	みます。本町からも早々に職員の現地派遣を行うな
	ど、最大限の援助を行っている旨認識しています。
	特に奥能登半島各地に発生した海底隆起といった
	想定外の事案、また、幹線道路の寸断という深刻な
	被害状況を目の当たりにし、我々も13年前の被害状
	況を振り返る必要があると思い、町内港湾、漁港施
	設の安全対策について伺います。
	(1) 女川湾内、北浦・五部浦地区、出島、江島に おける漁港の隆起変動は。
	(2) 各港に設置済みの救難用はしごの安全性に問 題はありませんか。また、震災後の予定設置数 量に対する設置完了数と今後の設置計画は。
	(3) 12月に見込む出島架橋開通後の出島・寺間 地区は、来島者、観光客の増加といったこと も予想されますが、漁港での安全対策は。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 指定避難所の今後は	令和３年３月発行の災害から身を守るための女
	川町防災ハザードマップに掲載されている指定避
	難所に関して、宮城県の津波浸水区域の設定に伴
	う見直し案について伺います。
	（１）現在の指定避難所の町内総数は。
	（２）水害、土砂災害、高潮、津波、原子力災害
	等における各地区避難所の見直し案は。
	（３）例えば避難所用地の提供について提案が
	あった場合の当局の対応は。
	（質問の相手：町長・担当課長）